中学校音楽科　北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

キーワード　歌詞から楽曲の特質や雰囲気を感受した鑑賞の指導と評価

題材名

　歌曲のよさを味わおう

内容のまとまり

〔第１学年〕

「Ｂ鑑賞」(1)鑑賞　及び　〔共通事項〕(1)

１　題材の目標

(1) 曲想と音楽の構造との関わりや，「魔王」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。

(2) 音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。

(3) 歌曲に関心をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

２　単元（題材）の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①　曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  ②　「魔王」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。 | ①　音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ①　歌曲に関心をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

３　指導と評価の計画（全３時間）

「・：指導に生かす評価を行う代表的な場面」，「○：全員の学習状況を記録に残す評価を行う場面」

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 評価規準（評価方法） | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・  表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １  本時 | 『魔王』の詩から，曲想などを想像した上で，シューベルト作曲「魔王」を聴き，気が付いたことを発表する。 | ・知①（ワークシート） | ・思①（ワークシート） | ○態①（行動観察，ワークシート） |
| ２ | シューベルト作曲「魔王」を聴き，音楽を形づくっている要素に注目しながら，音楽のよさや美しさを味わって聴く。  時代背景やシューベルトの生い立ちについて知る。 | ・知②（ワークシート） | ○思①（行動観察，ワークシート） |
| ３ | 他の作曲家の「魔王」を聴き，歌曲のよさ  や「魔力」の魅力についてまとめる。 | ○知①②（ワークシート） | ・思①（行動観察） |

４　本時案（１／３）

（1） 本時の目標

　　　『魔王』の詩から読み取れる心情や情景と，それを表現するために必要な音楽を形づくっている要素との関わりについて考える活動に，主体的・協働的に取り組むことができる。

（2） 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○学習活動　・生徒の反応 | ◇留意点　☆評価 |
| 導入 | ○これまでの学習を振り返り，『メリーさんの羊』を用いて，音楽を形づくっている要素をもとに，歌詞にあった表現方法を考える。 | ◇既習事項の音楽を形づくっている要素について，提示する |
| 展開 | ○『魔王』の詩を読み，この詩を歌にした作曲家がいることを知り，これから学習しようとしている『魔王』に興味をもつ。  ○詩から，情景やそれぞれの登場人物（父・子・魔王）の心情を考える。  ・父は気付いていないから，「何を怯えているんだろう。」と不思議に思う気持ち。  ・子には魔王が見えているので，とても怖がっている。  ・魔王は，優しく子を誘っている。  ○登場人物（父・子・魔王）の心情を表現するために，どのように演奏するとよいか考える。また，ピアノを使うという条件で伴奏はどんな感じにするか考える。  ・父は，冷静さを表すために速くもなく遅くもない速さ  で。  ・子は焦っているので，速いリズムで音は強く。  ・魔王は優しそうに，流れるような旋律で。  ○シューベルトが作曲した『魔王』を聴き，表現方法について気が付いたことや感想を発表する。 | 歌詞を生かした表現方法を考えよう。  ◇『魔王』の詩を配布し，この詩を歌にした作曲家がいることを伝え，『魔王』に関心をもたせる。  ◇登場人物の心情を表現するために，音楽を形づくっている要素に着目しながら考えさせる。  ◇声色やピアノ伴奏についても考えさせる。  ☆知①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  ☆思①音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。（発表，ワークシート）  ☆態①歌曲に関心をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  ◇登場人物の表現方法に注目させる。 |
| 終末 | ○本時の学習を振り返り，感想をワークシートに記入する。 | ◇本時の学習でわかったこと，感想をまとめさせ，次時への意欲をもたせる。 |

５　「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実際

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 具体的な例 |
| 態①歌曲に関心をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ○授業の設計・評価の考え方  ここでは，「音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働  きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考える」という「思考・判断・表現」の姿を目標として示すことで，そこに向かう「主体的に学習に取り組む態度」を評価することができる。  授業の設計においては，「主体性」における「自律性」「積極性」  の各側面のうち，主に「自律性」に注目し，「『～～したい』という関心・意欲」「他者と対（つい）になって考えを深め合う姿」「問い（とい）が連続して発生する状況」が発生する発問や環境の設定を考慮することが必要となる。  ○努力を要する（Ｃと判断される）生徒への手立て  登場人物ごとに聴き分けることができない生徒に対しては，  父・子・魔王ごとに曲を聴かせる。音楽を形づくっている要素と登場人物の心情とが結び付けられない生徒に対しては，「魔王」の詩に立ち戻らせる。 |

上記の指導計画は、次の指導計画を再構成したものです。元の指導計画詳細版のリンク先　＿＿＿

参考文献

国立教育政策研究所「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校音楽」，2020年